



最新の OS で学校のデバイス全体を改善

ChromeOS の新バージョンである ChromeOS Flex を学校の既存のデバイスにインストールすると、高速化、セキュリティの強化、サステナビリティの向上につながります。



学校コミュニティにとってのメリット

- 古くなつて利用していない端末を、Chromebook と同様に活用・管理することができます
- 現役のパソコンでもデバイスの起動が速くなるため、授業をスムーズに開始できます
- 直感的なユーザーインターフェースと、バックグラウンドで行われる更新により、授業中に起こりうる作業の中断を減らせます
- ChromeOS Flex で利用したパソコンが買い替えのタイミングになつても、新しい Chromebook でアカウント情報を入力すれば、ほんの数分で同じ環境が使えます
- もちろん、Chrome 同期により、各ユーザーがどのデバイスでも自分だけの設定、ブックマーク、拡張機能も使用可能です



ChromeOS Flex
詳しくはこちら



導入前にチェックしよう!

- Google のサポートを受けるためには、認定モデルリストに掲載されていること、および、ChromeOS Flex を Google 管理コンソールに登録する必要があります
- 次のような便利なヘルプコンテンツは ChromeOS Flex スタートガイドをご確認ください
 - ChromeOS Flex と ChromeOS の違い
 - 認定モデルリスト
 - 導入のベスト プラクティス など



ChromeOS Flex
スタートガイド





簡単 3 ステップ 試してみよう! ChromeOS Flex

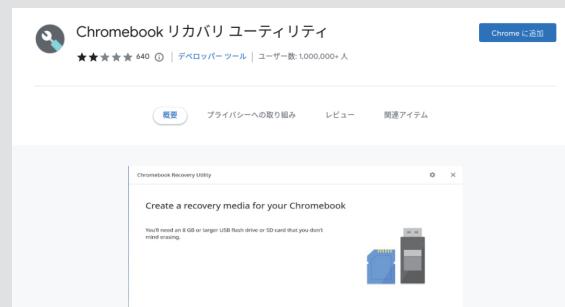


01 リカバリ ユーティリティの入手

Chrome ブラウザで Chrome ウェブストアにアクセスし、
Chromebook のリカバリ ユーティリティを入手

goo.gle/crosrecovery

※リカバリ ユーティリティは
Chromebook 以外でも利用可能です。



02 USB インストーラ の作成

Chromebook リカバリ ユーティリティを起動し、
[Chromebook の識別] で [リストからモデルを選択] を
選び、メーカーで [Google ChromeOS Flex]、製品で
[ChromeOS Flex] を選び続行からインストール用の
USB インストーラを作成する。

※8GB 以上の容量の USB ドライブが必要です。



03 ChromeOS Flex を試す

ChromeOS Flex をインストールしたいデバイスに
USB インストーラを挿し、USB から起動し [インストール]
または [試してみる] を用途に合わせて選択する。

- ※ USB からの起動には電源を入れたタイミングで、機種別に設定されている起動キーを押す必要がある場合が一般的です。
- ※ USB からの起動には BIOS や UEFI の設定が必要になる場合があります。詳細はデバイスのマニュアルをご確認ください。
- ※ インストールを選択した場合、OS が上書きされます。必要に応じてバックアップを作成することをおすすめします。
- ※ サポートを受けるためにはデバイスを管理コンソールに登録する必要があります。

